

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	篠山市立 八上小学校 職・氏名 教諭 小林 まり子	研究チーム名 (八上国語教育研究グループ)
-----------------	------------------------------	----------------------------

研究テーマ分類番号 (1)

(1)研究テーマ
<p>授業で培う言語力 ～ 言語を用いて考え、よりよく伝え合える子どもをめざして～</p>
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>《指導方法の工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の見通しをもたせる。 ・ 言葉の価値を児童に気づかせ、『コツ』『言葉の宝物』として共通の学びとする。 ・ 相互評価をする。 <p>友達の作品からよいところ（言葉や内容のよさにこだわって）を見つける。</p> <p>《言語活動を意図的に仕組んだ授業研究及び職員研修》</p> <p>(: 講師 神戸海星女子学院小学校教諭)</p> <p>5 学年 「伝え合おう、五年生でがんばりたいこと」(5 月 2 0 日) 「話すコツ」「聞くコツ」を話し合い、スピーチメモを活用しながら友達に発表する。</p> <p>6 学年 「イースター島にはなぜ森林がないのか」(5 月 3 1 日) 読み取った事実、推測、筆者の考えから自分の考えをまとめ、友達に発表する。</p> <p>3 学年 「自然のかくし絵」(6 月 1 4 日) 「見出しをつけるコツ」をつかみ、「すごいぞ生きもの新聞」を作る。</p> <p>2 学年 「雨の日のおさんぽ」(6 月 2 8 日) 話の展開を絵地図にまとめて、「雨はおもしろい」わけを 6 年生に伝える。</p> <p>職員研修「移行期からはじめる新しい国語の授業づくり」(7 月 2 7 日)</p> <p>4 学年 「『』くらしの百科の時間です」(9 月 2 8 日) 全員で共通の「生活のくふう」を紹介する文を書き、相互評価することによって文章表現のよさを見つける。その後、各自取材した「生活のくふう」をクラスの友達に知らせる。</p> <p>1 年生 「いろいろなふね」(1 1 月 5 日) 基本文型をつかって、「のりものしょうかいカード」を書き、友達に知らせる。</p>